

令和3年度 第1回 御代田町総合教育会議 会議録

招 集 年 月 日	令和4年3月24日(木)		
招 集 場 所	御代田町役場 大会議室		
開 閉 会 時 の 日 時	開 会	令和4年3月24日(木) 午後1時30分	
	閉 会	令和4年3月24日(木) 午後2時40分	

意見交換

(1) 町長就任から3年間の教育重点施策に対する意見交換

出席者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
御 代 田 町 長	小園 拓志	教 育 委 員	市川 美香
教 育 長	茂木 伸一	教 育 委 員	中山 梨恵子
教 育 長 職 務 代 理	山口 智之	教 育 委 員	市川 和明

説明のため出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 次 長	木内 一徳	教 育 次 長 補 佐 兼 社 会 体 育 係 長	古越 光弘
参事兼博物館係長兼 博 物 館 長	堤 隆	図 書 館 係 長	大井 敏
生 涯 学 習 係 長	小山 ゆう子	学 校 給 食 係 長	手塚 弥生
学 校 教 育 係 長	萩原 拓哉		

職務のため出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
総 務 課 長	萩原 春樹	総 務 課 長 補 佐 兼 庶 務 係 長	小林 達佳
書 記	上林 篤弥		

傍聴人

0人

第1回 御代田町総合教育会議 会議録

1. 開会

荻原総務課長

開会あいさつ

2. あいさつ

小園町長

教育委員の皆さまには、ご多忙のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

総合教育会議につきましては、昨年度までは教育委員会の主催で行ってきましたが、町長部局で開催することが本来の形であります。

本日は私が町長に就任してからの3年間で行ってきた施策を振り返り、ご意見やより良い教育行政の在り方について、活発な意見交換をお願いしたいと思います。

茂木教育長

小園町長が「長野県一の教育のまち」を掲げて当選してから3年が経ちました。現時点での振り返りや来年度以降を見据えた意見交換をお願いします。

荻原総務課長

先ほど町長のあいさつの中にもありました通り、これまで総合教育会議は教育委員会の主催で行ってきました。しかし、総合教育会議の設置要綱の8条に事務局の規定があり、総務課が事務局を務めることとなっているため、今回からは総務課の主催で行うこととします。

3. 意見交換

(1) 町長就任から3年間の教育重点施策に対する意見交換

荻原総務課長

町長就任から3年間で行ってきた教育重点施策について、各係より説明をお願いします。

各係長

資料に沿って、説明。

荻原総務課長

各係からの説明を踏まえて、これまで実施してきた施策についての思いや今後の方向性について、町長よりお願いします。

小園町長

今後の方向性については、色々な方から話を聞くタイミングを作って、考えやご意見等を取り入れていきたいと思っています。

町部局と教育委員会がお互いに協力し合える関係性を今後も続けていくことを大切にしたいです。

学校教育についての施策は即効性がありますが、今後は生涯学習についてどのような施策を行っていくか、体制作りを検討

したいと思います。教育委員会は大きく分けて、学校教育と社会教育の2つに分けることができます。現在の町教育委員会は、教育次長がその2つの分野を統括しており、大変であると思っています。そこで、学校教育と社会教育で課を2つに分けることを考えています。これは、他の自治体でも行われていることです。

学校で学ぶ時間も非常に大切ですが、学校卒業後の人生は長いものです。私も大学卒業以降の方が勉強の絶対量としては多い印象を持っています。社会人になってからも学びは必要であり、仕事に関係なくても、生きがいに繋がると思います。生涯学習の新たな枠組みをデザインしていくことが大切だと思います。

荻原総務課長

各係からの説明と町長からの話の中で、感想やご意見を教育委員の皆様からいただきたいと思っています。

山口職務代理

昨年度からこの職に就いていて、様々な会議に出席しています。その会議に集まった他市町村の方から「御代田町はすごい」と言われ、一住民として誇らしく思います。学校教職員の人事でも御代田町希望が多いという話も聞きます。

斬新なアイデアで施策を実行していただいているのですが、一部がコロナ禍で実行できずに残念に思っています。

しかし、常に先を読まれて施策を実行されているので、他市町村が追っている状況だと思います。私も学校勤務ですが、非常に勉強になっています。施策を見事にこなしている事務局も素晴らしく、お疲れ様と申し上げたいです。

学校教育は現状のまま押しすすめていただき、課題を解決しながら、子どもたちのためにご尽力をお願いしたいと思います。

小園町長

学校教職員の人事で御代田町への希望が多いということは非常にありがたいことです。私から教育委員会へお願いすることよりも、学校の先生方が活躍されることの方が効果的だと思います。御代田町の小中学校に来ることによって、学べるがあると、感じてもらえるように研究及び実行していきたいです。

市川美委員

3年前に町長が交代してからは、行動が早く感じます。先ほどの山口職務代理の話の中にもありましたが、他の市町村よりいち早く実行しているため、他の市町村が追ってきています。

私が教育委員になったときは、他の市町村に付いていくような状況でした。

様々な施策の中でも、私は中学生模擬議会が印象に残っており、第1回の中学生模擬議会は役場の町民ホールで傍聴させてもらいました。中学生が議会を見に行くことはなかなかできないので、選挙権年齢が下がることや議員の成り手不足等に中学生の頃から興味を持ってもらえることが良いと思います。昨年はコロナ禍でオンライン開催でありましたが、中学生に経験を積んでもらえるように今後もお願いします。

小園町長

今年度の中学生模擬議会の中止は非常に難しい判断でありました。必ずしも実施不可能ではないのですが、町全体のコロナへの取り組みを鑑みて、中止と判断しました。

先日、当日行われる予定だった中学生模擬議会での質問や資料を確認しました。中学生の皆さんに何らかの形でお返しをしたいと思っております。

御代田町には高校がないことから、中学校を卒業すると子どもたちとの関係が切れてしまうため、その直前の取り組みとして中学生模擬議会を大事にしていきたいと思っています。

実業家の前澤友作氏からふるさと納税をいただきました。そのふるさと納税の使い道について、ワークショップを開催し、御代田町在住の高校生6名に参加していただきました。その中で龍神の杜公園にバスケットボールコートを設置することや旧中山道小田井宿の道路にドットラインを設置することを提案いただきました。全てその通りに実行できるかは断言できませんが、ご提案に可能な限り寄り添う形にしたいと思います。

先ほども申しましたが、町内に高校がないため、高校生はほとんどの生徒が1日に1回は御代田駅を訪れます。例えば、御代田町の高校生が御代田駅を部室のような感覚で利用できるようなスペースにというような企画も考えていきたいです。

また、毎年行っている通学路の点検ですが、今後は各小中学校のPTA役員や道路管理者と一緒に私も通学路の確認を行い、交通安全にもこれまで以上に目を向けたいと思います。

中学生模擬議会を開催する目的は、単純な教育効果だけではなく、子どもたちと町側の接点となる非常に大事な機会であると思っています。大学生になると、地理的に御代田町を離れてしましますが、高校生だとほとんどの学生が御代田町から通う

ことになります。ゆくゆくは御代田町に U ターンし、就職してもらえような関係性を作っていきたいと考えています。

中山委員

私は学校で勤務しているのですが、中学 3 年生へのタブレット端末の配布や町施設への LED 設置をはじめとして、整備が早いと感じています。その中でも小中学校の給食費無償化については、金額もかなり大きいため、実現は難しいと思っていました。しかし、ふるさと納税を財源として、実現させた町長の力は素晴らしいと思います。今後は、無償化の後の給食の食べ残しといった小さなところにも目を向けた政策もお願いしたいと思っています。

私たちは学校教育に目が向きがちですが、御代田町としては、社会教育も大事だと思います。いずれ御代田町に U ターン等で戻ってきて、さらに町が発展していくようになると良いと思います。子どものころから、「御代田っていい町だよ」や「御代田ってすごいよね」と思い続けられるような社会教育が大事だと思います。

小園町長

給食費を無償化してから、材料費を少し上げています。今までは保護者の皆さまから直接給食費を徴収していたこともあり、無理をして抑えていました。今後はもう少し栄養士の先生が思った通りの献立を実現できるようにしたいと思っています。

直近のウクライナ情勢が話題になっていますが、ウクライナ情勢に限れば、小麦が大幅に値上がりすると発表がありました。日本の食料自給率は直近の数字だと 37% まで下がってきてしまっています。そのような状況の中で、給食費については今後の課題だと思っています。

しかし、米は今回のウクライナ情勢でも、あまり値段が上がっていません。地産地消が大事だと思っているので、フードマイレージ等の取り組みも行っていきたいと思っています。

町内企業の方とお話をする機会が過去にありましたが、「御代田町在住や出身の子が採用試験を受験してくれない」ということを話されます。企業が地元の子に来てほしいということをしつかり形に表して、それに町が協力することで企業と連携していくことが大事だと思います。私が町長に就任する前は、有意義な話ができいませんでしたが、具体的に子どもたちに戻ってきてもらえるような仕組みを作っていきたいと思っています。

市川和委員

パンフレット等に「子育てのまち」と記載がありますので、

力を入れて取り組まれていると思いますが、更に充実していったほしいと思います。小学校に入学をしてから不適應を起こす子どもたちもいるので、早い段階で支援のサポートが入っていれば、少し軽減できるケースも見たことがあります。

先ほど町長からお話がありましたが、社会教育や生涯学習にも力を入れていただきたいと思います。私も一線を退いてからは、何を生きがいにしていくかと思うことがあります。

UターンやIターンで御代田町に来てもらえることも素晴らしいですが、ファミリーに移住してもらえることも期待しています。

小園町長

早期の段階で子どもたちへの支援を行うということはとても大事なことだと考えています。教育委員会に公認心理士がおり、小中学校だけではなく、保育園への訪問も行っています。なかなか保育現場は、心理士を受け入れることにまだ慣れていないこともあり、まれに誤解が生じることもあります。しかし、心理士の支援が入ることで、保育士の皆さんにも成功体験が積み重なり、受け入れられるようになってきています。また、心理士は多忙となっているので、もう1人くらい心理士がいたら良いと思っています。

生涯学習についてですが、生涯学習は御代田町らしさを出せる部分だと思います。私事ですが、今年は自分で耕作する勉強を始めてみようと思っています。面替区では、通い稲作塾というものがあり、県外からもたくさんの方が通っています。その他にも、薪づくりのグループもあります。このように、生涯学習は公民館の中で座学をやるだけではなく、現場に出て、自分の血肉にしていくような活動も御代田町ではできると思います。

4. 閉会